

7. 国際交流

7.1 国際交流委員会

委員長：桜井 志保美 准教授

委員：木森准教授、金谷准教授、松本勝准教授、高井講師、工藤講師、瀧澤助教、室野助教

事務局：宮川専門員

活動内容：

<前年度までの課題>

前年度は、コロナ禍の影響を受け、海外研修、米国からの教員の招へいが実現できなかった。今年度も同様の影響が予想される。海外渡航、対面での研修の実現が不可能な場合は、学生の異文化理解を深め、学生及び教員の語学力の強化を図るために、遠隔技術を用いたネイティブの教員や学生との交流の機会を確保する。

<今年度の目標・年度計画>

1. 海外渡航が可能となった場合には、希望者を募りアメリカ、タイへの国際看護演習を再開し、学生の異文化理解や海外における保健医療福祉活動の理解を深める。
2. 日本在留の海外留学生等との交流の機会を確保し、学生の異文化理解を深める。
3. 国際コミュニケーション力に着目し、状況に応じて招へいやオンライン等方法を検討しながら、ネイティブの教員を活用し外国語講座を開講する等、国際的に活躍できる人材を育成する。
4. 語学力習得支援の評価方法を検討する。

<今年度の活動実績・評価>

コロナ禍の影響で、海外研修・語学研修・講座・交流会はオンライン開催とした。

1. アメリカ国際看護演習は、オンラインによるアメリカ看護研修に変更し開講した。4名の学生が履修し、単位を修得した。タイ国際看護演習は、現地研修ができず代替えとして、短期間のオンラインによるタイ看護研修（2日間）を企画したが、申込者はいなかった。
2. 学生向け語学講座は、昨年から引き続き業者による英語講座（初級コース2名、中級コース4名）、及びネイティブの講師による韓国語講座（入門コース5名、経験者コース4名）を7月から月2回通年で開講した。語学力習得支援について、文部科学省「読むこと」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の4項目※、5段階評価を受講前後に実施し、支援効果を評価した。
※文部科学省実施英語力調査の4技能を参考（学長企画・法人本部事業教育特別活性化事業に応募し採択、2022年度応募中）
3. 米国からの教員の招聘は、世界的なコロナ禍のため実現できなかったが、イリノイ大学シカゴ校のA・ドーレンボス教授によるオンライン講義を開講した。
 - 1) 教員・大学院生向け講義「Responding to COVID and the Future of Nursing」を8月18日（水）8:00-9:30に開催した。60名以上が参加し、講義の中でアメリカのコロナ対応の実際が紹介され、今後の看護研究について活発な議論が行われた。
 - 2) 学部科目「国際看護演習I」のアメリカ看護研修の事前準備セッションを8月27日（金）8:00-9:30に、履修者4名が参加、教員4名がサポートを行った。ドーレンボス教授およびイ

リノイ大学大学院生のM・フリトナー氏からイリノイ大学の看護学生の学修の様子が紹介され、意見交換がなされた。(学長企画・法人本部事業教育特別活性化事業に応募し採択、2022年度応募中)

4. International Caféは、石川県タイ友好協会の協力を得て3月に留学生との交流会を企画している。

<次年度以降に向けた課題・発展>

国際コミュニケーション力に着目し、教員招聘やオンライン等の多様な方法を検討しながら、ネイティブの教員を活用し外国語講座を開講する等、学生及び教員の語学力の強化を図る。国際研修及びInternational Caféを継続し、異文化理解を深める。対面形式での開催が難しい場合は、積極的にオンラインを活用し、国際交流する機会を確保する必要がある。

7.2 アメリカ看護研修

初めて、オンライン国際看護研修を開催し、2年生2名、4年生2名の参加があった。最終日には、オンラインでの視察、講義などの学びを学生一人一人が英語で発表し研修を終えた。研修後アンケートでは、研修内容について、「満足した」、「有意義であった」と全員が回答していた。

日 程：8月30日-9月4日（6日間）8:30-11:30（現地時間8月29日-9月3日16:30-19:30）

方 法：オンライン

内 容：

- ・ワシントン大学看護学部シュミレーションセンター研修、看護学部生とのQ&A
- ・ワシントン大学看護学部准教授 上月頼子先生による講義
「アメリカの保健・医療制度や看護教育、ナースプラクティショナーの役割について」
- ・Harbourview Medical Center オンライン研修
- ・チルドレンズホスピタル 日本人ナースによる看護オンラインセミナー
- ・ニッケイマナー オンライン研修 ※ 軽介護施設での高齢者看護ケアについて学ぶ
- ・ワシントン大学の教員によるEnglish Lesson（80分のレッスンを5回）
- ・プレゼンテーション(学びの発表)と修了証の授与